

2008年4月9日

会員・関係 各位

KHJ 香川県「オリーブの会」

連絡先 TEL・FAX

087-843-9877 (川井)

ホームページ http://www7a.biglobe.ne.jp/~khj_olive/

桜の花もほころび、旅立ちの季節が訪れました。「オリーブの会」も NPO 法人(特定非営利活動法人)として新しいスタートです。会員の皆様の益々のご協力、ご参加をお願いいたします。

つきましては下記の通り4月の月例会を開催いたしますので、ご出席くださいますようご案内いたします。

第70回月例会ご案内

1) 日 時 4月27日(日)

13:00~13:30 受付

13:30~15:00 講演

「なぜNPO法人なのか」

NPO法人津山きびの会

事務局長 太田 睦美 さん

15:00~15:15 休憩

15:15~16:30 平成20年度総会

19年度(平成19年7月1日より平成20年3月31日まで)
活動報告ならびに収支決算報告の承認について

NPO法人KHJ香川県オリーブの会の活動事業への要望、
意見について

2) 場 所 香川県社会福祉総合センター 6階 研修室

TEL 087-835-3334 県庁の斜め向い

3) 参加費 1家族 1,000円

【今後の月例会】

5月25日(日) 香川県社会福祉総合センター 13:30~16:30

6月22日(日) アルファあなぶきホール(香川県県民ホール) 13:00~16:45 予定

ナカガイト
中垣内正和氏(医学博士・精神保健指定医・KHJ顧問)の講演予定。

【前回の月例会より】(一部、概略)

松田先生のお話

今日は本人の希望で、ある家庭へ二度目の訪問をした。しかしいざ当日になると会えなかった。本人は会いたいという気持ちが強いので、今後も根気強く接していく。次は会えるのではないかと思っている。苦しんでいるとき、何とかしたいという気持ちが強いときがチャンスである。本人の現状に合わせて訪問する予定だ。皆さんのそれぞれの家庭でも本人の状態に合わせて進んでほしい。

グループカウンセリング(2グループ)

松田先生 親

長期の暴力がおさまって落ち着いてきている。

暴力が激しい時期を経て少し安心感が出てきている。これからエネルギーが湧いてくる。

昼夜逆転している。母親自身の病気や家族の問題でかまってやれなかった。老後のこと、子供の生活費などが心配だ。

自宅工事中のためアパートに一人で住んで三週間になる。家庭の経済状態を知り、まだ数年はやっていけると言っていて動こうとしない。

もう少し一人暮らしをさせるようにした方がよい。

両親と三人で旅行に行った。親の体力が落ちているので助けてほしいと頼んで付いてきてもらった。旅行中はガイドさんや観光客とは普通に話しができる。自宅の家庭菜園の手伝いはできるが、ポレポレ農園にはなかなか行けない。

現在17人が農園に通っている。「ちょっと寄ってみた」くらいの軽い気持ちで最初のきっかけができるとよい。無理に誘うとあとが難しくなる。

就職の面接に行った。結果はまだだが身だしなみは全く気にしない。ますます子供になってしまっている。

本人の要求があってもお金を渡すのをやめてみる。その結果動き始める可能性がある。

「車を借りるよ」と繰り返し言うが、4ヶ月くらいまったく家を出ていない。「今の状態が良いとは思っていない」とも言っている。

この4月が動き始めるきっかけになるかもしれない。どう考えているか突っ込んで聞いてみる。散髪、部屋掃除、新しい服を着るなどの行動は出るきっかけの準備をしていると考えられる。出るチャンスを生かすこと。

この数年まったく部屋から外へ出ない。食事は一日夜中に一食、風呂は毎日入っている。夜中にコンビニへ車で行っているらしい。お金は本人が貯めた貯金から年に2、3回下ろしているらしい。毎日「おはよう」「ただいま」だけでもいいから声をかける。声の調子から親のことをわかっているはずだ。

昨年末より外へ出なくなった。母親は手足に痛みがあるが、「母さんの手足が痛いのは私には関係ない」と言う。

母さんは私の苦しさを分かってくれないということ伝えていていると思える。日が浅いので早く回復する可能性がある。

20年親子で会話がな。食事は一緒にしているが、親が色々な話題を一方向的に話すのみ。本人が何を考えているのか分からない。どうすれば会話ができるだろうか。母親が送っているが、年に2回散髪には行っている。

親が死んだあと面倒をみってくれる所がほしい。役所や医師に障害者手帳交付について聞いたが、本人が病院に行けないので診断書が出ず、交付されないとされた。

【入会申込書と年会費について】

NPO法人KHJ香川県オーリーブの会の入会申込書と年会費払込票は4月例会会場にて配布させていただきます。引き続きご入会いただきますよう、お願いいたします。

年会費は正会員が毎月の参加費(会場費等)とは別に年に一度納めていただく会費です。通信料や講師招聘、居場所運営等に充当されます。財源不足になっているため従来より1000円上がり3000円となります。誠に申し訳ございませんがご理解いただきますようお願いいたします。

正会員 個人 1口 3,000円 1口以上

賛助会員 個人 1口 2,000円 1口以上(理解ある知り合いの方などに、支援の呼びかけをお願いいたします)

団体 1口 3,000円 1口以上(理解ある知り合いの事業所などに、支援の呼びかけをお願いいたします)

また、法人化するに当たって会員の希望を反映した事業内容にしたいと思っておりますので、皆様の要望や意見をお聞かせください。

【ポレポレ農園】

春を迎え農園では収穫、植え付けが忙しくなっています。卒業し旅立つ若者も出てきています。見学をしたい方、ボランティアとして手伝ってくださる方、野菜の購入に協力してくださる方はご連絡をお願いします。(松田先生 TEL 090-8695-0904)

【若者の集い】

3月15日(土)徳島から杉本さん、香川から若者2名、当番の親1名が参加しゆったりとした時間を過ごしました。お茶を飲みながらのひと時です。部屋もたくさんあります。一度のぞいてみて下さい。4月は19日(土)です

【居場所 活動予定】

4月 5日(土)	13:30 ~ 16:00	役員会
4月12日(土)	9:00 ~ 12:00	松田先生の個人カウンセリング
4月19日(土)	13:30 ~ 16:00	若者の集い(毎月第3土曜日)

【助成事業申請・寄付等】

堀井副会長に助成金の検討をしていただいています。

現在、「ドコモ市民活動団体への助成事業」に申請中です。

たんぼぼの会(代表 寒川圭矣子氏)様から、当会使用の二年分に相当する切手を寄付していただきました。

会員のOさんよりNPO法人理事長印と朱肉、印鑑マットを寄付していただきました。皆様ありがとうございました。

【親の体験集 発行】

「オーリーブの会」有志の親の体験集「あきらめない明日のために」発行に当たり、堀井副会長には大変お世話になりました。

写真と挿絵は会員のNさんMさんに協力していただきました。ありがとうございました。

1冊400円で販売しています。例会で購入できます。(問い合わせ：TEL/FAX 087-843-9877 川井)

【全国若者のつどい に参加して】

若者シンポジウム 高齢化した仲間と家族とともに考えたい

テーマ

私たちにとって貧困とは？

私たちにとって尊厳とは？

会場

兵庫県明石市生涯学習センター（アスピア明石）

日時

4月6日（日） 午後1時～（前日は交流会もあります）

主催

全国若者のつどい実行委員会

問い合わせ

情報センター1SIS神戸 TEL 078-371-3310

Mさんご夫妻の車に、Kさんと私が明石の会場まで便乗させていただき、途中の満開の桜、もくれん、また春の山々の景色に感嘆し、鳴門大橋からは渦潮をのんびりモードで眺めたり、おしゃべりしながらの2時間でした。早く到着したので資料の袋入れを少し手伝いました。芹沢俊介氏も手伝っていました。その後PM1時半から始まるだろうと待っていたところ、二人の若者が20分くらいBGM的にギターを弾いてくれました。

PM2時から42歳の青年は、「私の40代の地図」という題で静かに、しかし理路整然と語ってくれました。（以下 概略）

現在自分がやっていること、親の会の学習会の講師、電話相談、個人的に親御さんの相談にのっている。ほかの事をやっているはずがある。

また自分が抱えている本質的なものは何だろうか？

自分の恐怖心を感じないように、周りの人の気持ちに敏感すぎる。意識して人が何を求めているのか先に考える。人に合わせて自分に出していく。恐怖から出ている。自分の感情を押さえ込んでしまう。自分を出せないから人と深く関われない。動いては動けなくなって繰り返していた。なみがあるが引きこもりにつながっている。自分の問題は引きこもりの問題と思った。

収入は相談料など月10万円くらい。兄のところへ同居しているが兄は責めたりしない。兄も同じような部分を抱えているので、活動を理解してくれている。経済的に苦しいし物がない。僕としては兄のところへ居候して成り立っている。

親御さんは将来に対して不安をもっている。

経済的に政策的に支えられるだけでは希望が見えてこないと感じた。アメリカでは生活保護を受ける場合、ボランティアに参加したり、農業にしても努力目標を示さなければならないと聞いている。

経済的保障だけでなく、政策のほうで社会と関わっていけないか。社会参加をリンクさせられないか。

民間にやっている活動に参加すれば保障しますよ。というように生き方自体を変えてゆく。

政府のお金の出し方は、まだ思考錯誤中だ。政府に任せっぱなしではどうにもならない問題と思う。

経済的な活動が、親にとっての希望につながるのではないかと思う。

（川井）